

# KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



**樋口統希くん**  
 (平成27年2月生まれ・鴻巣)  
 食べる事と時計が大好きな  
 統希くん。元気に育ってね！  
 (父：孝弘、母：直美)

**鈴木未来(左)ちゃん  
 梨音(右)ちゃん**  
 (平成26年9月生まれ  
 平成29年2月生まれ・尾崎)  
 姉妹仲良く元気に大きくな  
 ってね♡ママの宝物♡  
 (母：絵梨)

**小久保奏汰くん**  
 (平成30年5月生まれ・三杉町)  
 5月で1歳おめでとう！  
 元気にすくすく育ってね！  
 (父：直樹、母：菜々)

**亀田楓人くん**  
 (平成29年8月生まれ・東山田)  
 元気いっぱい笑顔いっば  
 い、明るく大きく育ってね♡  
 (父：直人、母：楓百恵)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

## たくさんの人を救う 勇気ある消防士に

櫻山星惟斗さん 古河第四小学校6年生

ぼくのお父さんは消防士です。火事の現場で多くの人を救助しています。その姿を見て、ぼくも消防士になりたいと思いました。  
 テレビなどで見る火事の現場は、とても大変そうで怖くなるときもありますが、火事の現場で逃げ遅れた人はもっと怖い思いをしているのだと思います。  
 だからぼくは、お父さんのようなたくさんの方の命を救える勇気のある消防士になりたいです。



# キラリ☆輝く人たち

## 「民謡」に魅せられて

**渡邊幸彦さん**(上辺見・83歳)

民謡の認定師範教授の資格を持ち、民謡指導家として広く活動している渡邊さん。介護事業所への慰問を始め、地域のコミュニティセンターで集いを開いたり、小学校で児童に民謡や楽器について教えたりと、普及に努めています。  
 日本の伝統文化である民謡の素晴らしさをより多くの人に伝えるため、さまざまな活動を行う渡邊さんの情熱や、これからの目標について伺いました。



**伝統文化の普及のために**  
 稽古に打ち込み、数々のコンクールに入賞してきました。昭和33年に、自身のグループが猿島豊年音頭の曲に詩を付けて地域で歌い、それが現在では「古河甚句」として。  
 その魅力にとりつかれ、その後すぐに民謡の世界へ足を踏み入れ、独学で学んでいきました。

**民謡のSHOGUN**  
 自衛官として、古河駐屯地に勤務していた渡邊さん。陸上競技の県代表選手として活躍し、短距離種目では昭和35年のローマオリンピック候補選手に選出される程でした。  
 日々のトレーニングの中でも、大好きな歌は常に口ずさんでいたそうです。  
 民謡との出会いは、昭和27年NHKのご自慢全国コンクールに出場した時でした。渡邊さんは、歌謡曲での出場でしたが、他の出演者が歌っていた民謡の豊かな旋律に、大きな感動を覚えたことを今でもよく記憶しているそうです。



▲介護事業所で民謡を歌う渡邊さん

で多くの人に愛されているので感慨深いと話します。だからこそ、子どもから大人までより多くの人に民謡の素晴らしさを知ってほしいと強く感じるようになりました。  
 その熱い思いから、現在は在宅介護支援センターなどの介護事業所への慰問や、公民館などの地域のコミュニティセンター、小学校で普及活動などを行っています。  
 古河第六小学校へは毎年訪問し、一緒に民謡を歌ったり、三味線指導家の奥さんと三味線体験を行ったりと、伝統文化に触れる機会を作っています。

**民謡の魅力の後世へ**  
 「これからもジャンルを問わず本を読んだり、さまざまな人と友達になり話を聞くことで、幅広く知識を深めて行きたい。それが民謡を続ける活力になる」と話す渡邊さん。さらに多くの人に民謡の素晴らしさを知ってもらうため、これからも普及活動を続けていきたいと考えています。  
 民謡を歌うことの楽しさを伝えることで、次の時代へその魅力を伝えていく人が増えてくれたらうれしいと話す、朗らかな表情が印象的でした。

地域のコミュニティセンターではお弁当を用意し、近所の高齢者を前に歌うなど、地道なボランティア活動を続けているそうです。毎回楽しみにしている人も多く、参加者の笑顔を見ることがうれしいと話します。  
 このような伝統文化向上への貢献が認められ、平成30年には(公財)日本民謡協会から功労章が贈られました。